

8 月	豊川 愛護モニター報告	モニター区間	豊川：左右岸 6.2km～17.8km 管轄出張所：豊川流域治水出張所
実施日		実施区間	吉田大橋～賀茂橋

8月になると市街地ではクマゼミの大合唱が下火になってくるが、豊川の河畔林では8月中旬でも相変わらず元気だ。しかし、さすがに8月下旬になると静かになっている。今年の夏の暑さはまだまだ厳しく、むしろ最高気温は今年最高をマークし、残暑というよりも夏本番といった様子だが、セミの鳴き声が止んでくると、とりあえず季節は進行していることを感じることができる。

8月に豊川堤防道路を走っているとやたら目立つのがアカトンボ。多いところでは半端ない数のアカトンボが飛び交っている。その中を自転車で走っていると一応避けてくれるのだが、それでも時々身体にぶつかってくるヤツもいる。あれだけの大きさがあるから、身体に当たると結構痛い。これも夏の風物詩と考えるか。

三上橋から当古橋に至る左岸堤防道路でコヒルガオを見つけた。直径5cmもない花が他の草に埋もれてひっそりと咲いている。つい見逃してしまいそうになるのだが、花のない時期なので、幸運にも見つけることができた。



最初は外来種のアメリカアサガオかと思ったのだが、葉の形が全然違う。調べたらコヒルガオだった。コヒルガオは在来種で、種をつけることはほとんどなく、地下茎で繁殖する。場所によっては雑草のように繁殖しているところもあるが、堤防の土手で見るのははじめてだ。ただ、生えているのは一本だけで、しかもあまり勢いがいい。花を咲かせていたのも数日だけで、知らない間に他の草に埋もれてどこにあるのかわからなくなっていた。はたして来年再び見ることができるか。

8月は豊橋ではひたすら雨が降らなかった。豊川の流量も冬と変わらないくらい少なくなっていると思っていたら8月29日に5%の取水制限が始まった。写真は豊川分水堰の上流側。3月に中洲を除去する工事が終わって以降も水量が少ない時はうっすらと中洲が現れていた。しかし、ここまで大きな中洲ははじめて見た。写真には写っていないが、堰付近も完全に干上がっている。この夏の厳しさを物語っているようだ。

